

本格石窯ピザに舌鼓 六粟 山崎高生、児童らに指導



窯で焼き上がったピザと参加した親子ら＝六粟市山崎町加生

山崎高校(六粟市山崎町加生)で23日、市内の小学生と保護者ら約50人がピザ作りに挑戦した。同校生活創造科の生徒約20人の指導

を受け、手作りの味を楽しんだ。

地域活性化を目指す同校のプロジェクト「山高街の駅」の一環。

親子の交流を深めてもらおうと企画。味はトマトソースと照り焼きチキンの2種類で、生地やソース、具材は、生徒が手作りのした。

子どもたちは、生地を麺棒で器用に広げ、小さく切ったソーセージやチーズを載せた。校内に設置されている石窯で約10分間焼くと、香ばしい匂いが漂った。

同校2年の祐保かれんさん(16)は「子どもが調理する姿をお母さんがうれしそうに見ていた」と喜び、山崎小5年の矢野琢己君(10)は「生地がふわふわでおいしかった」と話していた。

(敏隆潤子)